

競 技 注 意 事 項

- 1 本記録会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本記録会の競技注意事項により実施する。
- 2 点呼(100m ゴール後方)は、プログラムに記載された招集完了時刻までに、張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○印を付ける。トラック競技出場者は各自で腰ナンバーを取ること。招集完了時刻の5分前までに現地に集合し、トラック競技は出発係、フィールド競技は跳躍審判・投てき審判のチェックを受けること。招集完了時刻を過ぎても○印が無い場合や本人が現地にいない場合は棄権とみなし処理をする。
- 3 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- 4 同時に2種目以上の競技に出場する選手は、その旨を必ず競技者係に申し出ること。
(トラック競技を優先とする)
- 5 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。
- 6 棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。
【共通女子】練習 1m50 競技 1m60
【共通男子】練習 2m50 競技 2m60 以降 10cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 7 三段跳の踏切板は、砂場から男子は9Mと11M、女子は7Mと9Mする。
- 8 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
【中学男子】練習 1m20 競技 1m20～1m50 までは5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【中学女子】練習 1m05 競技 1m10～1m35 までは5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通男子】練習 1m40 競技 1m40～1m70 までは5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通女子】練習 1m15 競技 1m20～1m40 までは5cm 上がり 以降 3cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 9 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てきの用器具については検定を通ったものを使用しても良い。
- 10 競技場の競走路・助走路は全天候舗装のため、競技用靴のスパイクの長さは9mm以下を使用しなければならない。走高跳・やり投は12mm以下とする。

11 その他

※ 砲丸の重さ

区分	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg